

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

② 施設・事業所情報

名称：アスク大和保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：青木 直子	定員（利用人数）：50名（56名）
所在地：〒242-0021 神奈川県大和市中央1-4-19 2F	
TEL：046-200-2183	ホームページ： https://www.nihonhoiku.co.jp/blog/yamato/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2010年10月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 日本保育サービス	
職員数	常勤職員：21名 非常勤職員：6名
専門職員	保育士 20名 看護師（内準看護師） 1名（1名） 栄養士（内管理栄養士）1名（1名） 調理員 3名
施設・設備の概要	(居室数) (設備等)
乳児室（0～2歳児室）3室	建物 鉄筋造り 3階建て
沐浴室 1室	延床面積 375.53㎡
調理室 1室	園庭 無
調乳室 1室	
トイレ 3室	
事務室 1室	
職員休憩室(更衣室) 1室	
地域子育て支援室 1室	

③ 理念・基本方針

【保育理念】

「未来（あす）を生きる力を培う」

自分らしく、生きる道を歩み、どんな時代にも対応できる資質と能力を培います。

【保育方針】

一人ひとりに心をかけ、愛情を注ぎ、成長に合わせたきめ細かな保育を行なうことで、変化の激しいこれからの社会を生き抜くための、“生涯にわたる生きる力の基礎”を育みます。

○自らの伸びようとする力を支えます

○五感を養って感性を豊かにします

○後伸びする力を育みます

④ 施設・事業所の特徴的な取組

【立地および施設の概要】

アスク大和保育園は小田急線・相鉄線大和駅から徒歩5分の商業ビルの2階にあります

す。平成22年10月に株式会社日本保育サービスが開設した保育園です。0～2歳児までの56人(定員50名)が在籍している認可保育園です。商業地域にあり、園庭のない保育園ですが、天気の良い日には、大和公園、中央一号公園等の近くの公園や、シリウス(図書館)や泉の森公園等に毎日散歩に出かけています。

【園の特徴】

園目標を「すくすくげんきに みんななかよし」とし、自らの伸びようとする力を支え、五感を養い感性を豊かにする保育を目指し、食育活動、地域との交流に力を入れています。1歳児から専門講師による英語、体操、音楽のプログラムがあり、楽しむ心や学ぶ楽しさを育てています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年8月1日(契約日) ～ 2024年3月25日(評価結果確定日)
受審回数(前回の受審時期)	7回(2017年度)

⑥ 総評

◇特長

1. 保育業務における係活動を通じた主体的な取組

職員全員が、親子行事や園内行事、誕生会の係を担うほか、ベビーアスク、子育て支援、写真・備品、安全・消防の各係に所属し、担当ごとに主体的に話し合いを行ない、園内研修を行なっています。

園内研修では、「保護者の心に寄り添う悩み相談について知る」や「各公園までの危険箇所マップ」をテーマに話し合いを行なっています。また、「理想の保育士とは」についてチームごとに話し合い、結果をマインドマップにして掲示し、成果を発表しています。理想とする保育士になるためには、良好な人間関係、心のゆとり、健康、笑顔が必要であり、子どもたちにたくさんの遊びを提供して日々の生活を楽しめるようにするとしています。

2. 食育活動・絵本・手遊びのプログラムで、豊かな体験

子どもの主体性と安定した情緒を育むため、0～2歳児向けオリジナルプログラム活動を展開しています。年間計画を作成し、2か月ごとにテーマに沿った食材に触れ、制作をしたり、手遊びや絵本の読み聞かせを行なったりしています。4・5月はりんご、6・7月はキノコ、8・9月はピーマンをテーマとしています。12・1月は「おもち」をテーマとして、「おもちのきもち」「おもちさんがね」の絵本を読み聞かせ、手遊びは「もちっこやいて」「おもちびよーん」というふれあい遊びを行ないました。1歳児クラスではふれあい遊び「もちっこやいて」をすると、最後のフレーズ「うまかろ」と言いながら美味しそうなお顔をしていました。2歳児クラスではプラスチックの容器にお米の粒を入れて、容器を振って音を楽しんだり、お米の粒を見たりしていました。

3. 積極的な地域支援活動への取組

毎月、地域子育て支援の一環として「ぽかぽか広場であそぼう!」を園や近くの公園で開催しています。手遊びや大型絵本の読み聞かせ、制作、運動遊び、ベビーマッサージや栄養相談を行なうなど、保育に関するノウハウや専門的な情報を地域に還元する取組を行なっています。毎回、6、7組の親子が参加しています。また、参加者を園の夏祭りに招待したり、ハロウィンで商店の人と交流するなど、地域コミュニティの活性化に努めています。

◇今後期待される点

1. 園が取り組むべき課題を組み込んだ中・長期計画の策定を

中・長期計画の目標項目は、各年度ともほぼ共通した項目となっています。人材育成や安全対策、環境整備等、園が取り組むべき項目も取り上げて推進することが望まれます。また、事業計画には、数値目標や達成時期等を明確にすることが望まれます。

2. 苦情解決の仕組みと外部の苦情・相談申し出先の周知を

苦情解決の体制については、保護者に重要事項説明書や保護者会で説明し、園の玄関に掲示していますが、保護者アンケート結果からは十分に周知しているとは言えません。保護者から苦情・相談や意見があった場合の解決の仕組みをフローチャート等によりわかりやすく作成して、保護者に周知することが期待されます。また、外部の苦情・相談申し出先として、大和市や「かながわ福祉サービス運営適正化委員会」等の窓口があることを保護者に周知することが望まれます。

3. プライバシー保護マニュアルの作成を

おむつ交換時は衝立等を使い、水遊びや沐浴の際は、人目に触れないスペースでプライバシーが守られるようにしています。法人の「生活場面のチェックリスト」の中に、プライバシーに関する記載がありますが、子どものプライバシー保護に関するマニュアルを作成することが望まれます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

この度、5年ぶりに第三者機関の評価を受審することになり、改めて職員全体で園の保育を振り返る良い機会となりました。

自園では社会の状況が大きく変わる時期を乗り越え、ベビーアスクプログラムを中心に、子どもと保護者に寄り添った丁寧な保育を心掛けて保育をして参りました。今回、ベビーアスクプログラムの内容や言葉かけ、保育者の対応など、細かい部分も見えて頂き、また、良い評価を頂いたことは職員の励みとなりました。さらに、子どもたちにとって、人的にも物的にも良い環境づくりを目指し、職員が課題を見つけて様々な園内研修を行ってきたことも評価していただきました。乳児のみの園としてはたくさんのお子様をお預かりしていますが、今後も一人ひとりの成長を丁寧に支えていきたいと感じております。

さらに、様々な課題も明確になりました。ご指摘いただいた内容について職員と共に改善し、より良い園運営を目指していきたいと思っております。

今回の第三者評価を受けるにあたりお忙しい中、アンケートにご協力いただきました保護者の皆様には感謝しております。今後も、保護者の皆様と一緒に子育ての楽しさや喜びを共感していきたいと思っております。

最後になりますが、丁寧な調査と聞き取りで、当園の強みと課題を明確にいただいた評価機関の皆様には感謝申し上げます。今後も職員一同、力を合わせて保育の質の向上に努めてまいります。

アスク大和保育園 青木 直子

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり